

平成23年度
実施事業

事務事業名

カルルス温泉サンライバスキー場事業

区分	No	名称
章	3	大地に根ざしたたくましい産業が躍動するまち
節	1	活力に満ちた魅力あふれる産業をつくる
施策	1	魅力ある観光地づくり
小分類	1	ときめきと感動のある観光地づくり
主要な施策	1	地域の資源を活かした観光施設整備
事務事業番号	003	事業開始年度 昭和 38 年度 事業終了年度 平成 - 年度 会計種別 カルルス温泉スキー場事業特別会計

部 名	観光経済部	グループ名	観光振興グループ
-----	-------	-------	----------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	観光振興及びカルルス地区の活性化、ウインタースポーツの振興を図る。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	安心安全なスキー場として、施設の適正な維持管理を行い、施設利用者の増加を図る。 また、事業運営については(株)登別ゴルフ場に5年間業務委託(平成23年5月1日～平成28年4月30日)。 委託内容 スキーリフトの運行業務及び維持管理に関する業務、スキーリフト使用料等業務により生じる収入の収納等に関する事務、ゲレンデ、駐車場、照明塔の維持管理に関する業務、管理棟の維持管理に関する業務、食堂に関する業務、売店に関する業務、スキー用具等の貸し出しに関する業務、スキー講習に関する業務、レンタルルームに関する業務、コインロッカーに関する業務、自動販売機に関する業務、修学旅行の受入れに関する業務等
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	修学旅行生や国外からの観光客の誘客を図り、安定経営に努める。 また、カルルス地区の活性化を図るための方策を検討する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	自然公園法、登別市カルルス温泉スキー場条例及び管理規則

事業費(財源内訳)の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円	81,441	76,908	81,795	81,795	81,795
一般財源	名称	千円	31,778	24,690	34,005	34,005	34,005
事業費 合計			113,219	101,598	115,800	115,800	115,800

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	輸送人員	人	目標値	314,000	323,000	310,000	296,000	283,000
			実績値	328,215	313,536			
			目標値					
			実績値					

現況		《Check》
現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》	
スキー利用者の減少、施設の老朽化に伴う修繕費の増加等。	修学旅行誘致の他、市内小学校のスキー学習の推進及び、近隣市町に居住する市民・町民への用具レンタル料金の割引により利用者の増加を図る。 また、計画的な施設整備を行い利用者に安全に利用していただく。	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 スポーツレクリエーションの振興と冬季観光客の拡大及びカルルス地区の活性化を図るため、市が実施することは妥当。観光客入込みの平準化を図るためにもスキー場経営は必要である。
	民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 市内小学校スキー学習・修学旅行・外国人旅行者に活用されており、当該スキー場の役割は大きい。
	市民アンケートの結果から必要性が高い	
	社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 修学旅行の利用による観光振興や、北海道ならではのウインタースポーツの普及、さらには、市民の健康増進の点からやむを得ない。
	市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 市内小学校スキー学習利用校数が増加しており、また、外国旅行会社等招聘事業により降雪の無い地域の旅行会社等から大変好評を得ている。
	市民、団体等の声から成果を感じられる	
	目に見える形で成果があがっている	
	成果の把握は困難である	

担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	スポーツレクリエーションの振興と冬季観光客の拡大及びカルルス地区の活性化を図るため、また、利用者にカルルス温泉サンライバスキー場を安全かつ快適に利用していただくために、事業を維持する。
-----------	----------------------	--

行政評価会議による評価 《Check》

維持	備考
-----------	----